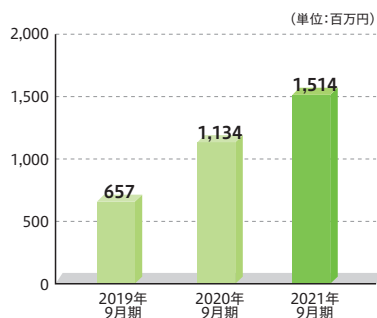


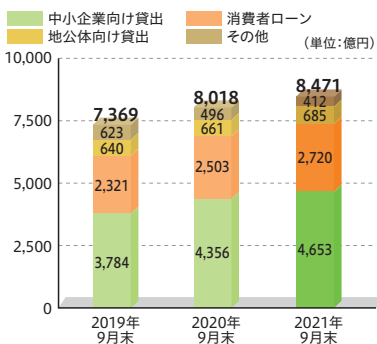
コア業務純益の状況

銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、貸出金利息及び有価証券利息配当金の増加等により資金利益が増加したことに加え、役員取引等利益が増加したことなどから、前年同期比3億79百万円増加の15億14百万円となりました。



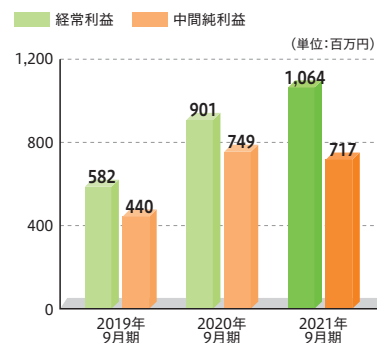
貸出金の状況

貸出金残高は、新型コロナウイルス感染症関連の支援を継続し、中小企業向け貸出が増加したことなどから、2020年9月末比453億59百万円増加の8,471億80百万円となり、仙台銀行として過去最高の貸出金残高となりました。



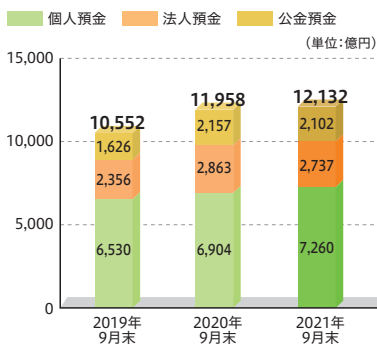
経常利益・中間純利益の状況

経常利益は前年同期比1億63百万円増加の10億64百万円、中間純利益は法人税等合計が増加したことにより前年同期比31百万円減少の7億17百万円となりました。



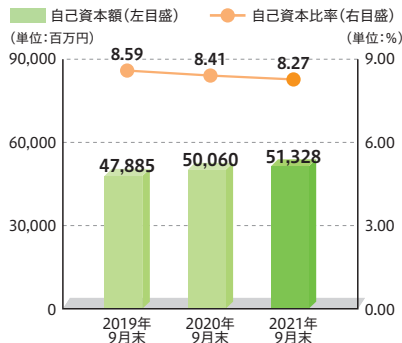
預金(譲渡性預金を含む)の状況

預金残高は、個人預金が増加したことから、2020年9月末比173億96百万円増加の1兆2,132億95百万円となりました。



自己資本比率の状況

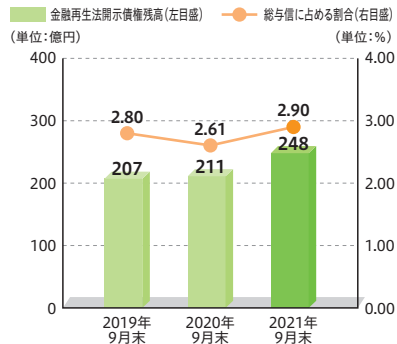
単体の自己資本比率は、中間純利益を7億17百万円計上したことなどにより自己資本額が増加した一方で、貸出金残高の増加などに伴いリスクアセットが増加したことから、2020年9月末比0.14ポイント低下の8.27%となりました。



金融再生法開示債権の状況

金融再生法開示債権の残高は、2020年9月末比36億60百万円増加の248億6百万円となりました。総与信額に占める割合は、2020年9月末比0.29ポイント上昇し2.90%となりました。

金融再生法開示債権残高および総与信に占める割合



用語解説

■コア業務純益:「業務純益」から「一般貸倒引当金繰入額」と「国債等債券損益」を除いたものです。分かりやすく言えば、資金運用収益と調達費用の差額である資金運用収支と、送金手数料等の手数料収支から、営業経費を引いた、いわゆる銀行本業部分の収支のことを指します。■経常利益:「業務純益」から「株式売買損益」や「個別貸倒引当金繰入額」などの臨時損益を加減した利益を指します。■中間純利益:「経常利益」に「特別利益」と「特別損失」、そして法人税等の税金を加減した利益を指します。

※金額は単位未満を切り捨てて表示しております。